

## 10月15日の感想

<4年生>

わたしは新聞の勉強をしました。神戸新聞の三好さんに、見出しの付け方について教えてもらいました。5W1Hはニュースの基本ということを学びました。いつ・どこ・だれが・何を・なぜ・どのようにを使って書いてあるので、じっさいに新聞を読んでみてたしかめてみたいのです。

竹田城の話では、「うかぶ」という表現を、「うかぶ」と書くのではなくて、「ふわり」と書いていて、たしかにうかぶじゃなくてふわりのほうが、ういているような感じがするのでいいなあと思いました。わたしも新聞の見出しをかくしてクイズをしてみたいです。

わたしは今日の授業を受けて、新聞の記事で大切にされていることがわかりました。三好さんの話を聞いて、見出しを作るには、5W1Hが大切なことが知れました。記事のポイントを短い言葉で表すことを学びました。記事の内容を短い言葉でわかりやすく表したのが見出しなんだなあと思いました。ある表現を言いかえて伝わりやすくする工夫もしているんだなあと思いました。「電車に乗って」という表現を、「電車にゆられて」と言いかえているのがいいと思いました。すきな言葉をまねして、自分もそのような言葉を使えるようになりたいです。

新聞の学習をして思ったことは、「見出しって意外につけやすいんじゃない？」ということ  
とです。記事の中で一番伝えたいことをさぐって、それが理解できるとぱぱっと言葉が出て  
きました。5W1Hも大事だとわかりました。家に届く新聞でも試してみたいです。学んだこ  
とを覚えて、使える日がくるといいなあと思います。

<3年生>

神戸新聞を作っている三好さんに、見出しの付け方を教えてもらいました。5W1Hが大  
切だということや、言葉選びのくふうをされていることなどを知りました。

金曜日に神戸新聞の三好さんにNIEの勉強を教えてもらいました。5W1Hは、なぜ・ど  
こ・いつ・何を・だれが・どうやってという意味で、新聞の記事にはそれが入っていること  
を知りました。竹田じょうがうかんでいる様子を「うかぶ」と言うよりも、「ふわり」と言  
う方がうかんでいる様子がイメージできていいなと思いました。

ぼくは、新聞の勉強をしました。その勉強は、神戸新聞の三好さんという人に教えても

らいました。さいしょに5W1Hが新聞の記事に入っているということを教えてもらいました。また里山新聞を書くので、そのときに教えてもらったことをいかしていきたいです。

金曜日に、新聞の勉強をしました。5W1Hはいつ・どこで・だれが・何を・なぜ・どのよう  
うにということで、それが記事の中に入っていることが分かりました。また、「うかぶ」を  
「ふわり」に言いかえると、本当にうかんでいる感じがするので、見出しをつけるときはよ  
く考えなければいけないこともわかりました。新聞の記事を書いている人は、5W1Hなど  
をいしきして書かないといけないので、たいへんなんだなと思いました。里山新聞や社会見  
学の新聞を書くときに、今日教えてもらった見出しの付け方の勉強をいかしていきたいです。